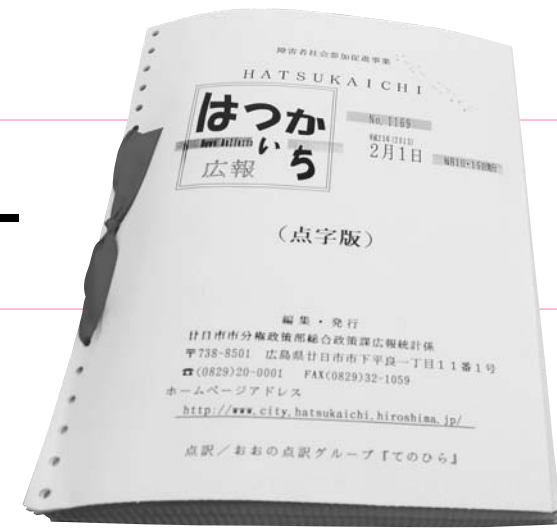




もうひとつの

広報がある—



視覚に障がいのある人や、病気や高齢のために「広報はつかいち」を読むことが困難な方に、「声の広報」、「点字広報」を届けている人たちがいる。「広報はつかいち」を縁の下で支える人たちの声を聞く—。

音訳奉仕員「さくらんぼの会」

音訳奉仕員「さくらんぼの会」では、広報紙を読んでCDやカセットテープに録音し、目の不自由な人に郵送しています。25年以上前から活動を続け、現在メンバーは19人。ほとんどの方が、市内で活動している音訳サークルに所属し、ボランティアで読み聞かせや、戦争体験記の朗読を行っているそうです。作業は4、5人でページを分担。家で下読みをし、吹き込みをします。吹き込み作業には2日掛かることもあるとか。「書いてあることをすべて言葉に変えて伝えるのが音訳です。しかし、地図やグラフ、写真などを言葉に変えるのは難しいですね」とメンバーの一人は話します。

「わたしたちは、聞く人の目の代わりです。そのつもりで読んでいます。聞く人は、耳から入ってくるものだけが情報なんです。だから複雑な表などは、こちらがしっかり意味を理解しないと伝えられないんです。」音訳は、朗読などと違って、感情を込めずに客観的に読むのが特徴だとのこと。皆さん、聞きやすい音訳とは何か、日々勉強されているそうです。

音訳されたテープ・CDのお問い合わせは、社会福祉協議会 ☎ 0294 294 まで。

写真下「たくさんの方に聞いてほしいですね」と、音訳ボランティア「さくらんぼの会」の皆さん。各音訳サークルで練習を重ねた成果が、ここでの音訳につながっている。写真左下_録音は2人1組で行う。



点訳ボランティアグループ「てのひら」



写真上_点訳グループ「てのひら」の皆さん。点字は、点の盛り上がりによって文字・数字を表現する。通常用いられる点字は横2×縦3の6つの点で表される。写真右_手打ち用の携帯点字版。現在は、パソコンに入力し、プリンターから打ち出されるが、以前は手打ちで行っていたこともあるとか。

広報紙の点訳本を作成するのが、点訳ボランティアグループ「てのひら」の皆さんです。平成2年から活動を始められ、目の不自由な方への情報保障として、旧大野町時代の平成15年から広報紙の点訳活動がされています。毎週木曜日に集まり、4、5人で作業を分担。まず、市から受け取ったデータをパソコンの点訳ソフトで点字に変換します。変換誤りがないか各自が自宅で

チェックしたものを持ち寄り、違う人の目で校正します。その後読み合わせをして印刷・製本されます。「読んでくれる人の気持ちを思い浮かべながら作業しています」と、代表の小川敬三さん。「仲間と一緒にいることでの作業は楽しいですね。それが、誰かの役に立っていると思うと生きがいになります。」現在メンバーは26人。「子育てがひと段落して何か始めようと思いましたが」「少しでも役に立ちたい」と、新しく入った30歳代のメンバーも多いとのこと。「点字は6つの突起を使って表す世界共通の言葉。覚えるのは難しいと思われがちですが、母音と子音があるローマ字に似ているので、コツをつかめばそう難しいものではありません。それに、自分の空いている時間を使ってできるところがいいですね」と小川さん。皆さんとても仲がよく、話はずみ過ぎることもしばしばだと笑って話します。完成した点訳本は、市内の視覚障がい者に郵送しています。また、市役所以外にも各公共施設に置いてあります。お問い合わせは社会福祉協議会大野事務所 ☎ 0294 294 まで。

時代変われば…



もうひとつ、大きく変わったのがカメラ。従来のフィルムカメラでは、現像から返ってくるまで、失敗したのかわかさえ分かりませんでした。しかも、現像するお店が休みだったりすると、撮った写真を確認するまでに数日掛かることもありました。イベントなどでは撮り直しがきかず、

広報担当者には失敗しないだけのカメラの知識と技術が求められていたのです。そのカメラも現在はデジタルに変わり、撮った写真がその場で確認できることは大きなメリットとなっています。とはいえ、失敗しないように、カメラの腕を磨くことは、いつの時代も広報担当者に課せられた宿命なのです。

時代変われば…



リッシング)と呼ばれる机上編集を行っています。パソコンを使って原稿の入力から編集、レイアウトまで担当者が行うことで、イメージ通りの紙面づくりが可能となっています。しかし、紙面のレイアウトは難しく、試行錯誤の繰り返しです。いつの時代も担当者の苦悩は続きます…。

広報紙づくりで大きく変わったのが編集方法。それまでは、文章や写真を担当者が用意し、レイアウト用紙にイメージを書き込んで印刷業者に渡していました。しかし、出来上がった紙面を見たら思い描いたイメージと違うこともしばしば。何度もやり直すこともありました。現在では、DTP(デスクトップパブ